



さつきの花が見頃になりました。皆様方におかれましては、いかがお過ごしでしょうか？

入居されている方は、特に変わりなく新しい年度を迎えましたがグループホームを取り巻く制度は、この4月から変わりました。

介護の必要性の高い人が利用するケアホームが廃止され、グループホームという名称になりました。また、一人暮らしのスタイルでも「サテライト型」としてグループホームの対象になりました。

まだまだ変化の多い障害者総合福祉法ですが、今後も見守っていく必要があります。

理事長 立田芳弘

みのりほーむ

1. 部屋替えを実施しました

大きな部屋、小さな部屋、和室、洋室、南向きの部屋、北向きの部屋など様々な部屋があります。みんなが公平に生活できるよう、4月26日（土）部屋の取り換えっこをしました。

個人用のテレビやパソコンも大移動です。ベッドや衣装ケースはみんなで協力しあって移動させることができましたが、TVの配線やパソコンの取り外し・組立はちょっと苦手な方が多かったようで、世話人がお手伝い無事大移動が完了し、新しいスペースでの生活が始まりました。

2. 漢字検定2級に合格しました

SKさんは、昨年からは漢字検定の合格をめざして猛勉強を続けていましたが3月下旬念願の2級に合格しました。



世話人/大島芳江
森 政雄

みのりほーむ2

4月の誕生会はサイゼリアです。4/16（水）入院中の人も一時外泊で5人そろっての食事ができました。

世話人/長戸 由香里



待ちわびた春をじっくり味わう暇もなく新緑の季節を迎えようとしています。新年度を迎え心機一転と気持ちが高揚している方、環境が変わり適応するのに少し余裕のない方、様々だとは思いますがいかがお過ごしでしょうか。

私の方は年度末から新年度にかけて4月からのグループホーム一元化に伴う申請書類作成等で若干心に余裕のない生活を送っていましたが、ようやくそれも一段落しつつあります。利用者の方々についてはさぼーと ピースや青空協同組合等、日中活動の場において職員の異動がありました。生活を支えるグループホームに関しては異動がなかったため、比較的皆さん変化なく穏やかに生活しているように見受けられます。

グループホームの一元化という話が出ましたが、これは利用者の高齢化、重度化が進んでもグループホームで生活が送れるようにするという趣旨のもと改正されたものです。具体的には、介護が必要になった場合、①グループホームの中に介護を担当する職員をあらかじめ配置しておく方法と②介護担当職員を配置せず必要が生じた場合外部からヘルパーを入れる方法どちらかを選ぶようになりました。みのりほーむでは現在のところ介護の必要な利用者がいらっやらないので後者の必要に応じ外部からヘルパーを入れる選択をしました。制度の変更はありますが、利用者及び保護者の方々に安心して生活を送っていただきたいという思いに変わりはないので、そのために職員一同尽力していきたい次第です。今年度もよろしく願いいたします。

みのりほーむ管理者 川嶋聡一

みのりほーむ3

佐倉チューリップフェスティバルでたくさんチューリップをいただきました。その日に皆さんで苗植えを行い、木々が緑が多かった玄関先が華やかになりました。まだつぼみのものもあり、次は何色の花が咲くか楽しみです。

世話人/遠藤寛子

